

1- component type
urethane - coated waterproof material

KF SEALTECT WP

1 成分形ウレタン塗膜防水材 KFシールテクトWP

特定化学物質予防規則 非該当品

- 本書は、適切な条件のもと、適切な保管・処理・使用を前提とした場合の製品性能、一般的な施工方法・施工手順等を記載したものにすぎません。個別・具体的な工事における、当該工事条件下での製品の選択、保管・処理・使用、施工方法・手順等は、専門家である使用者たる施工業者様の責任であります。
- 本書は記載データ、数値などは当社にて測定した代表値を示したものであり、保証値ではありません。したがって、これらのデータ・数値は予告なく変更することがあります。また、記載された事項は信頼されると考えられる内外の技術情報並びに細心の注意を払って行った試験に基づくものではありません。したがって、ご使用に際しましては、事前に十分な検討の上ご利用くださいますようお願い申し上げます。
- 本カタログでご覧いただく塗料の色味は、実際の商品の色とは異なる場合がございます。予めご了承ください。

製造元	販売元
KF KFケミカル株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング9F TEL: 03-6629-9033 FAX: 03-6629-9023 HP: http://www.k-fine.co.jp	

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
165-15900-001 2019.7

KF
Developed in KF Chemicals, Ltd.

KF SEALTECT WP

C O N T E N T S

● お住まいの方へ・施工される方へ	4
● 工法番号の見かた	5
● KFシールテクトWP工法について	6～13
■ KFシールテクトWP 通気緩衝工法	6 ～ 7
■ KFシールテクトWP 密着工法 (KFメッシュクロスあり)	8 ～ 9
■ KFシールテクトWP 密着工法 (KFメッシュクロスなし)	10
■ KFシールテクトWP ベランダ改修防水工法	11
■ 公共建築工事標準仕様 (X-1平場仕様)	12
■ 公共建築工事標準仕様 (X-2平場仕様)	13
● 各部の納り図	14～15
● 使用材料	16～21
● 取扱上の注意点	22～24
● 使用材料一覧	25

1成分形ウレタン防水材「KFシールテクトWP」誕生。

「KFシールテクトWP」は、1成分形ウレタン塗膜防水材だから従来の2成分形では必要不可欠な計量作業や混練作業が不要。作業効率を大幅に向上させ、且つ硬化不良の心配が無くなりました。また、独自の硬化システムにより厚膜に施工しても表面にシワやピンホールなどの異常が発生し難く、水盤のような綺麗な連続膜を形成します。

防水機能を付与したい部位に容器から取り出して塗布するだけで確実な防水塗膜が得られます。

防水工事で
求められる性能

確実な防水性

耐候性
耐久性

工期短縮

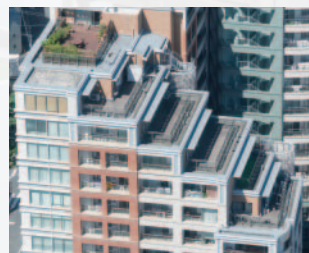
様々な要求に応える

KFシールテクトWPが
大切な資産を保護し続けます。

屋上・ルーフバルコニー

最も防水機能が求められる部位だから。

屋上・ルーフバルコニーは紫外線や降雨などに晒されるため、劣化の激しい部位です。厳しい環境に耐える耐候性や耐久性が求められます。



架台基礎

複雑な形状だから、シームレス防水を。

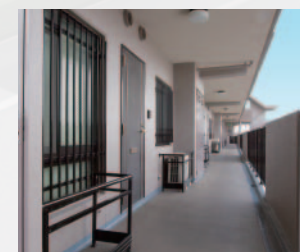
環境変化や技術革新により、様々な設備が設置される屋根。設備を固定する基礎架台は屋根の防水工法を複雑にするため、防水工事はあらゆる形状で確実性が要求されます。



共用廊下・階段

速硬化防水で、素早く施工区域を開放。

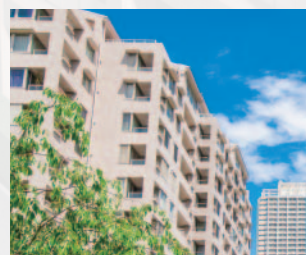
工事期間中、お住まいの方の使用頻度が最も高い廊下や階段。お住まいの方の不便を軽減するためにも、すばやく確実な施工が求められます。



パラペット・庇

重大事故を防ぐ、中性化防止も。

集合住宅ではパラペットや庇もコンクリート。酸性雨によって中性化され脆くなったコンクリートは落下の恐れがあり、重大事故を未然に防ぐため雨水対策は必須です。



ベランダ・バルコニー

確実に、素早く施工を完了させたい。

お住まいの方の生活スペースだから早く施工を完了させたい。改修工事では早く確実な防水施工が求められます。

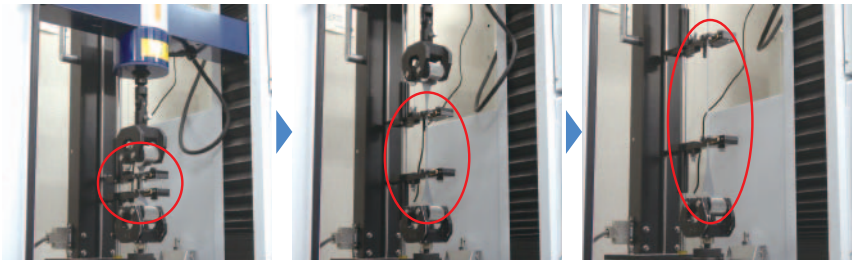


お住まいの方へ

KFシールテクトWPは、施工の簡便さ、下地ひび割れへの追従性、複雑な形状の箇所でも施工できる、KFケミカルならではの1成分形ウレタン防水材です。
ベランダなどの小面積から、マンション屋上などの大面積までお任せください。

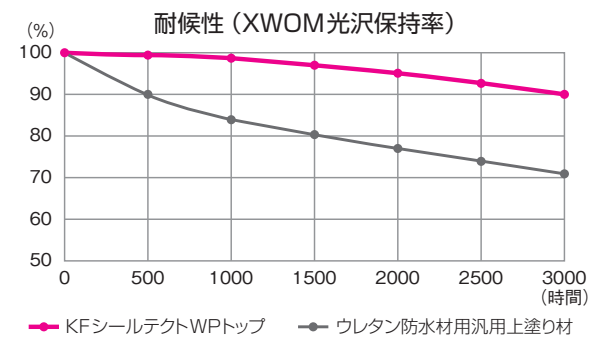
確実な防水性

1成分形ながら優れた伸張性を発現し、2成分形と同等以上の防水機能を有します。



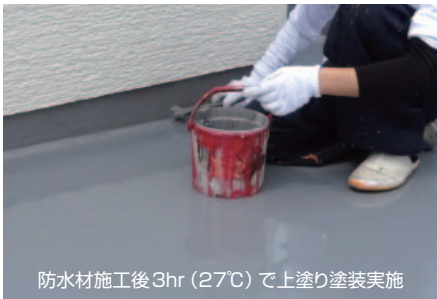
耐候性・耐久性

防水材の保護用トップコートにアクリルシリコン塗料を採用。紫外線・酸性雨から防水層を長年に保護します。



工期短縮

KFシールテクトWPに専用の硬化促進剤を添加するだけで従来のウレタン防水材に比べ大幅に硬化スピードを早めることができます。



施工される方へ

混合攪拌の必要がないため常に一定の品質を確保した施工が可能となります。
また、缶を開けたらすぐに塗布できるため、ベランダ、側溝・笠木等の小面積の施工もスムーズに。
もちろん特定化学物質も無配合です。

良好な作業性

1成分形だから開缶して材料を流し延べるだけで防水機能を付与できます。セルフレベルリング性が良好なため容易に綺麗な平滑塗膜を作ることが可能です。



環境対応

特定化学物質を含みません。
日々使う材料だから作業者の健康にも配慮します。



工法番号の見かた

工法番号表示



仕様記号

- A (KFオリジナル仕様)
- K (公共建築工事標準仕様書)
- B (ベランダ工法)

シート種類

- M (シート無し)
- S (KF自着通気緩衝シートあり)
- X (KFメッシュクロスあり)

防水層厚み

- 表示=防水層厚み (mm)

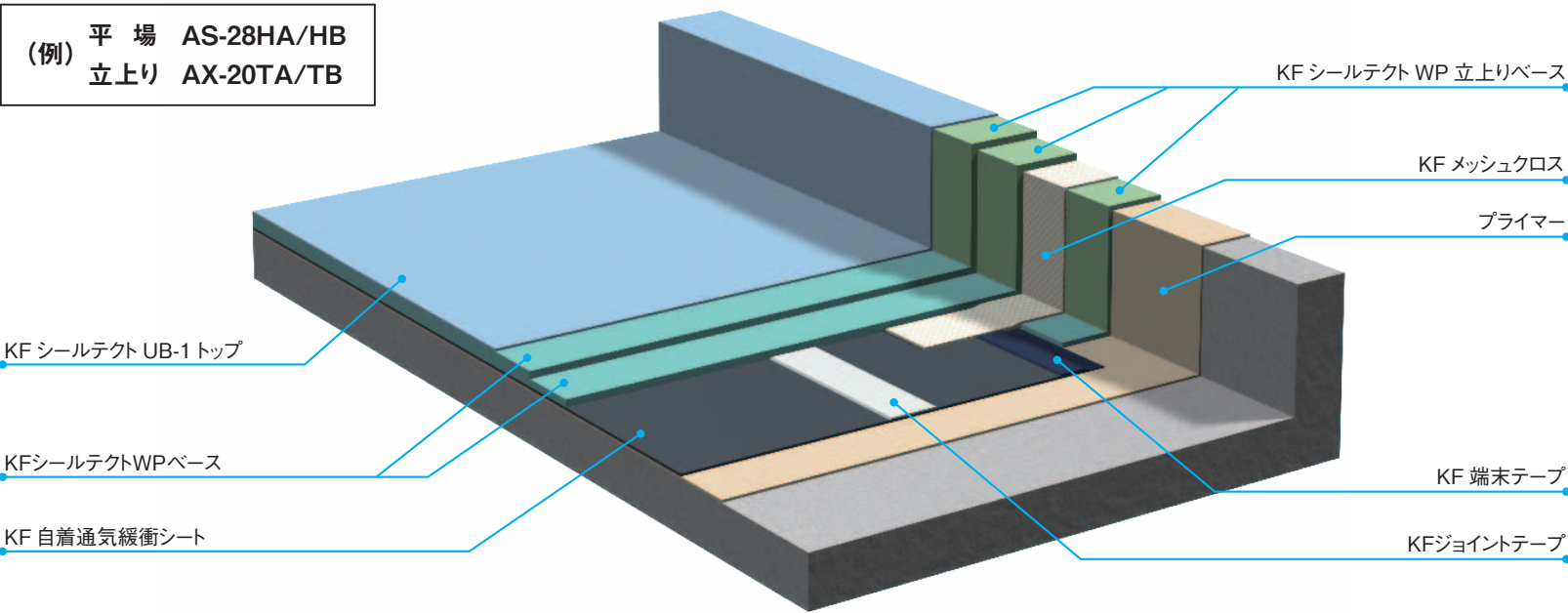
施工部位

- H (平場)
- T (立上り)

仕上がり種類

- A (艶有り仕上げ)
- B (凹凸仕上げ)

KFシー尔特クトWP 通気緩衝工法



工法番号	AS-28HA
防水材厚み	2.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0 m／㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3 m／㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AS-28HB
防水材厚み	2.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0 m／㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3 m／㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AS-20HA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0 m／㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3 m／㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシー尔特クトWPベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトWPベース	1.4 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AS-20HB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0 m／㎡	—
	KF端末テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3 m／㎡	—
	KF補強テープ ※3	0.2 m／㎡	—
	脱気筒設置 ※3	50㎡に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシー尔特クトWPベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトWPベース	1.4 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-20TA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-20TA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-20TB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	凹凸

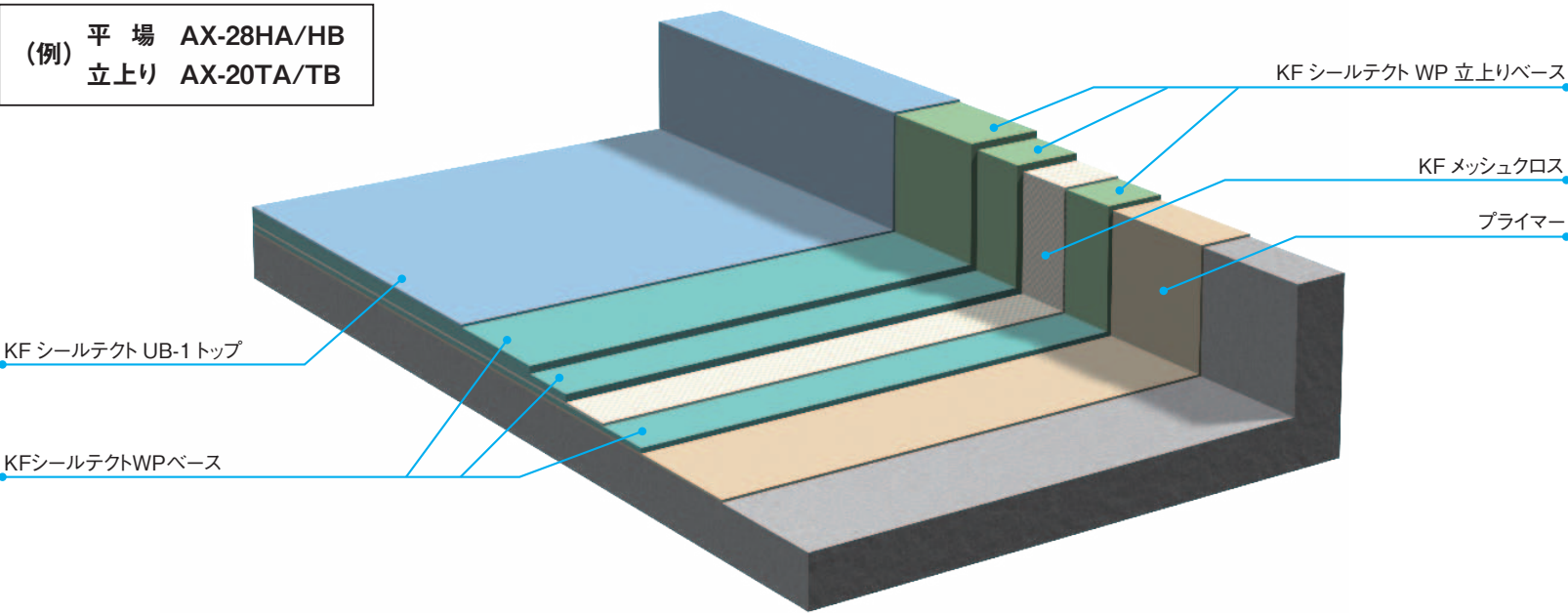
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ ※3	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-20TB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

- ※ 1 プライマーは下地に応じて選定してください。またプライマーの塗布量は下地状態によって変動します。
- ※ 2 KFシー尔特クト WP ベース又はKFシー尔特クト WP 立上り用ベース塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けてください。
- ※ 3 シート・テープ類について記載された塗布量は使用量となります。施工場所の状況によって使用量が変動しますのでご注意ください。
- ※ 4 KFシー尔特クト UB-1 トップに対しKFシー尔特クトUBー1弾性骨材を 2% 添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布してください。

KFシー尔特クトWP 密着工法 (KFメッシュクロスあり)



工法番号	AX-28HA		
防水材厚み	2.8 mm 厚		
施工部位	平 場		
仕上り種類	艶有り		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWPベース	1.8 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWPベース	1.8 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-28HB		
防水材厚み	2.8 mm 厚		
施工部位	平 場		
仕上り種類	凹凸		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWPベース	1.8 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWPベース	1.8 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-20TA		
防水材厚み	2.0 mm 厚		
施工部位	立上り		
仕上り種類	艶有り		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-20TB		
防水材厚み	2.0 mm 厚		
施工部位	立上り		
仕上り種類	凹凸		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.2 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-18HA		
防水材厚み	1.8 mm 厚		
施工部位	平 場		
仕上り種類	艶有り		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWPベース	1.1 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWPベース	1.1 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AX-18HB		
防水材厚み	1.8 mm 厚		
施工部位	平 場		
仕上り種類	凹凸		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース ※2	0.4 kg／㎡	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m／㎡	—
4	KFシー尔特クトWPベース	1.1 kg／㎡	16hr
5	KFシー尔特クトWPベース	1.1 kg／㎡	16hr
6	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

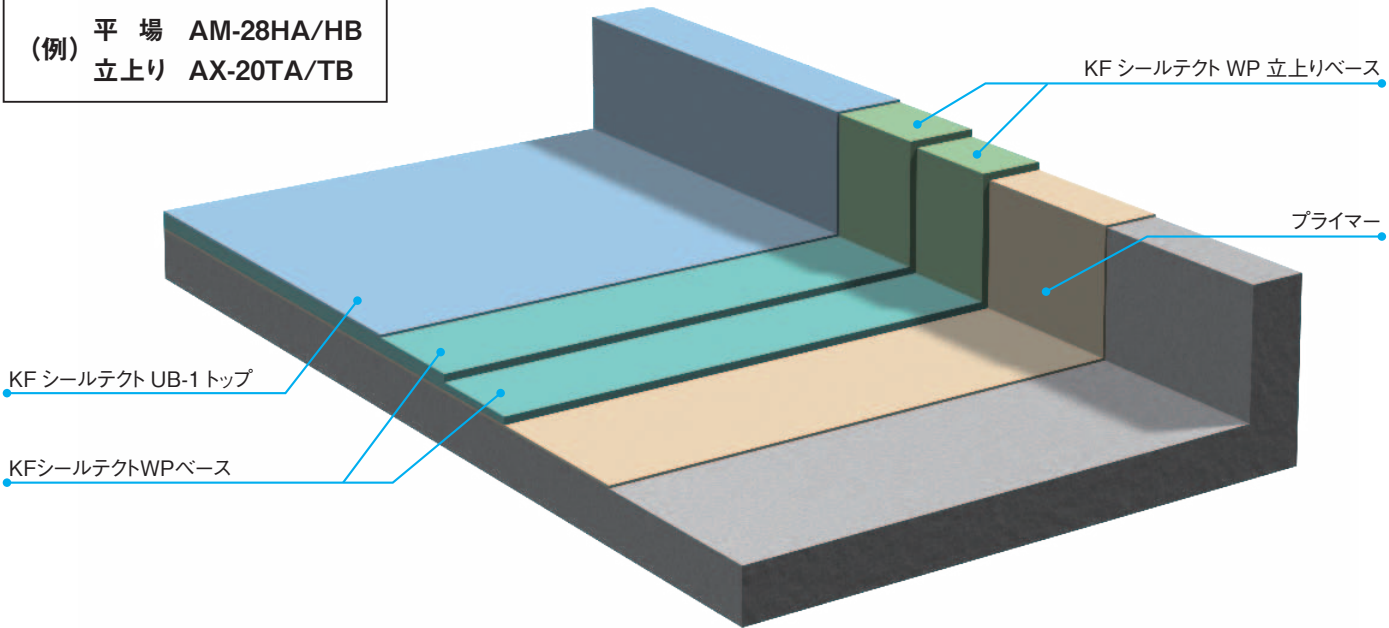
工法番号	AM-20TA		
防水材厚み	2.0 mm 厚		
施工部位	立上り		
仕上り種類	艶有り		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-20TB		
防水材厚み	2.0 mm 厚		
施工部位	立上り		
仕上り種類	凹凸		
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ ※4	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

- ※ 1 プライマーは下地に応じて選定してください。またプライマーの塗布量は下地状態によって変動します。
- ※ 2 KFシー尔特クト WP ベース又はKFシー尔特クト WP 立上り用ベース塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けてください。
- ※ 3 シート・テープ類について記載された塗布量は使用量となります。施工場所の状況によって使用量が変動しますのでご注意ください。
- ※ 4 KFシー尔特クト UB-1 トップに対しKFシー尔特クトUBー1弾性骨材を 2% 添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布してください。

KFシー尔特クトWP 密着工法（KFメッシュクロスなし）

（例）平 場 AM-28HA/HB
立上り AX-20TA/TB



工法番号	AM-28HA
防水材厚み	2.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-18HA
防水材厚み	1.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	1.3 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWPベース	1.3 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-20TA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-28HB
防水材厚み	2.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ ※2	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-18HB
防水材厚み	1.8 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	凹凸

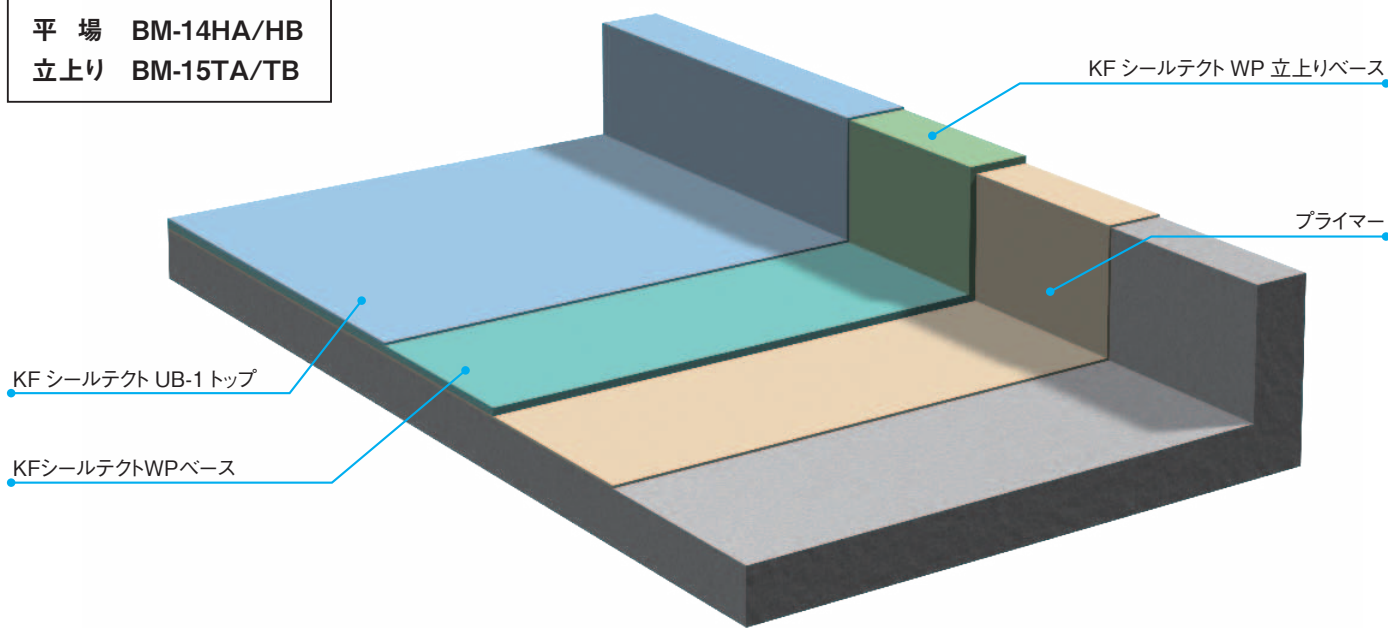
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	1.3 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWPベース	1.3 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ ※2	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	AM-20TB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	1.4 kg／㎡	16hr
4	KFシー尔特クトUB-1トップ ※2	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

KFシー尔特クトWP ベランダ防水工法

平 場 BM-14HA/HB
立上り BM-15TA/TB



工法番号	BM-14HA
防水材厚み	1.4 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	BM-15TA
防水材厚み	1.4 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトUB-1トップ	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	BM-14HB
防水材厚み	1.4 mm 厚
施工部位	平 場
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWPベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトUB-1トップ ※2	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	BM-15TB
防水材厚み	1.4 mm 厚
施工部位	立上り
仕上げ種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg／㎡	1.5hr
2	KFシー尔特クトWP立上り用ベース	2.0 kg／㎡	16hr
3	KFシー尔特クトUB-1トップ ※2	0.2 kg／㎡	工程内16hr 最終養生16hr

「KFシー尔特クトWPベランダ防水工法（工期短縮工法）」について

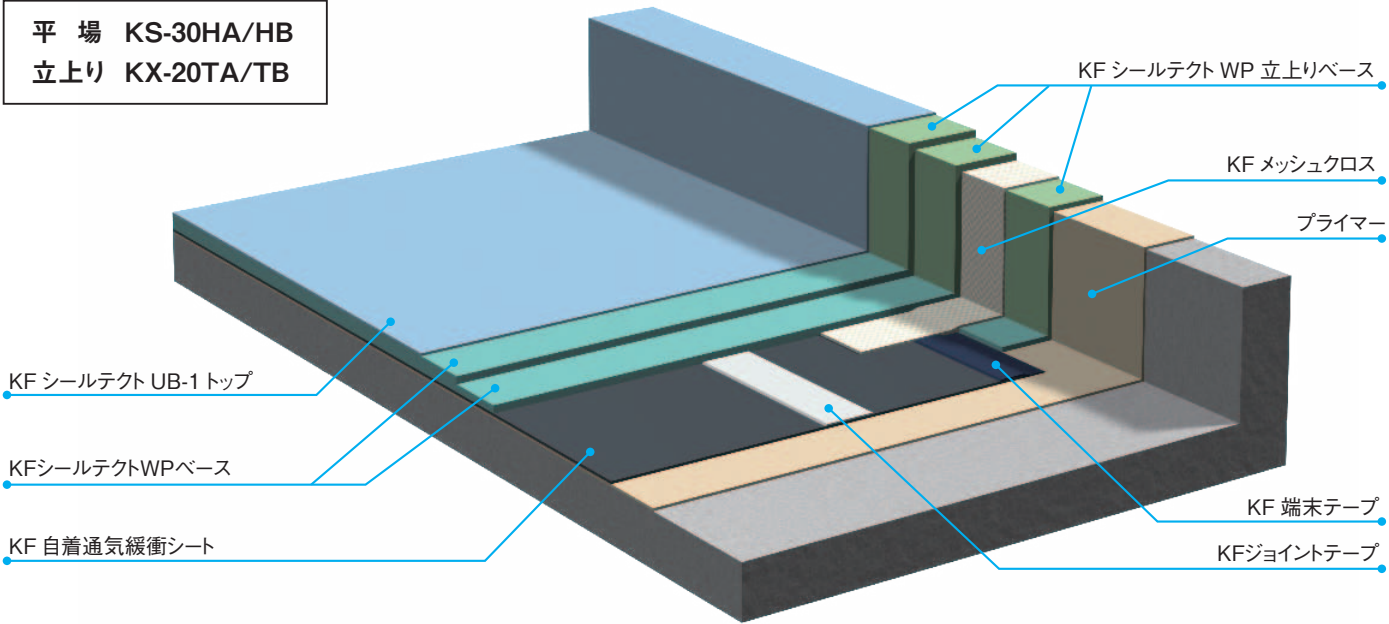
狭小部など **1日**で防水工事を完工させたい場合の工期短縮工法です。
KFシー尔特クトWPベース及びKFシー尔特クトWP立上り用ベースに**KFシー尔特クトWP硬化促進剤**を添加することで硬化時間が早くなり、プライマーからトップコートまで **1日**で施工することが可能となります。KFシー尔特クトWP硬化促進剤はKFシー尔特クトWPベース又はKFシー尔特クトWP立上り用ベースに対し**4%** 添加し、電動攪拌機を用いて一様になるまでよく混合し、速やかに施工面へ流し延べてください。

硬化時間(23℃)	促進剤なし		促進剤あり	
KFシー尔特クトWPベース	16 hr		4 hr	
KFシー尔特クトWP立上り用ベース	16 hr		4 hr	

- ※ 1 プライマーは下地に応じて選定してください。またプライマーの塗布量は下地状態によって変動します。
- ※ 2 KFシー尔特クト UB-1 トップに対しKFシー尔特クト UB-1 弾性骨材を 2% 添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布してください。

公共建築工事標準仕様（X-1 平場仕様）・X-1 X-2 共通立上り仕様

平 場 KS-30HA/HB
立上り KX-20TA/TB



工法番号	KS-30HA
防水材厚み	3.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上り種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KF 自着通気緩衝シート ※ 3	1.0 m / m ²	—
	KF 端末テープ ※ 3	0.2 m / m ²	—
	KFジョイントテープ ※ 3	1.3 m / m ²	—
	KF補強テープ ※ 3	0.2 m / m ²	—
	脱気筒設置 ※ 3	50m ² に 1 箇所	—
	ドレン設置 ※ 3	必要数	—
3	KFシーラテクトWPベース	2.1 kg / m ²	16hr
4	KFシーラテクトWPベース	2.1 kg / m ²	16hr
5	KF シーラテクト UB-1 トップ	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	KX-20TA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上り種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.2 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.2 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	KS-30HB
防水材厚み	3.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上り種類	艶有り

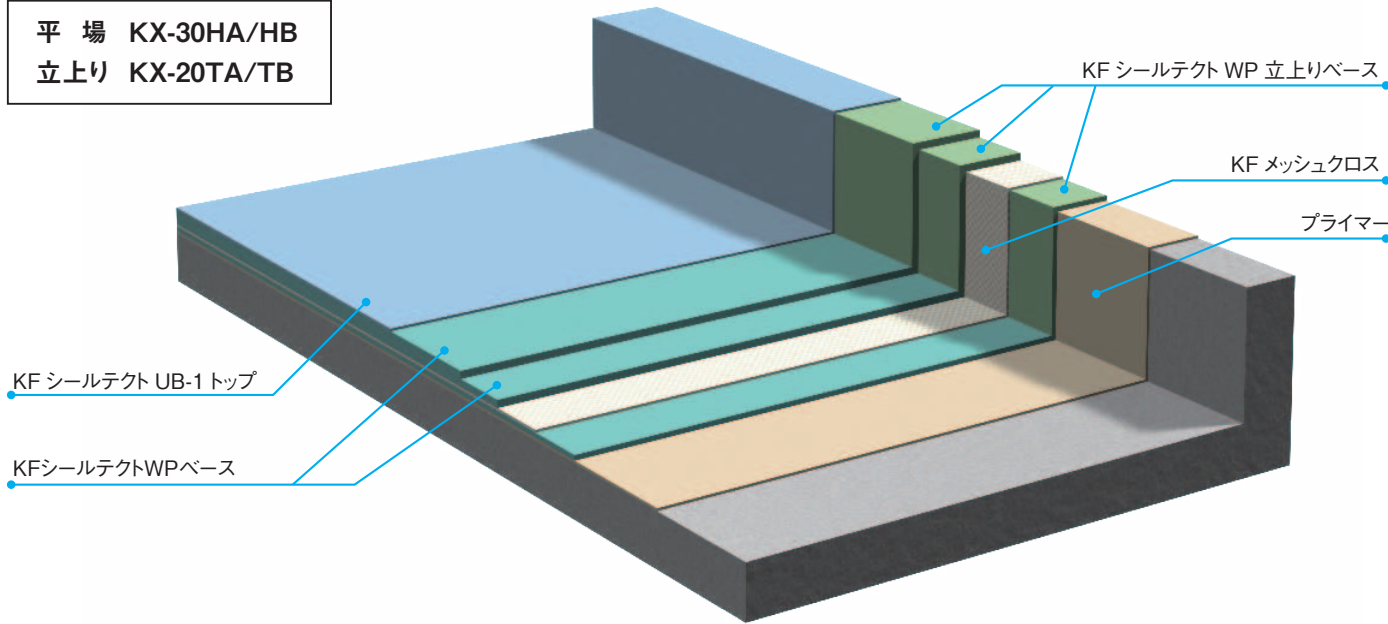
工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー※1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KF自着通気緩衝シート ※3	1.0 m / m ²	—
	KF端末テープ ※3	0.2 m / m ²	—
	KFジョイントテープ ※3	1.3 m / m ²	—
	KF補強テープ ※3	0.2 m / m ²	—
	脱気筒設置 ※3	50m ² に1箇所	—
	ドレン設置 ※3	必要数	—
3	KFシーラテクトWPベース	2.1 kg / m ²	16hr
4	KFシーラテクトWPベース	2.1 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトUB-1トップ ※4	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	KX-20TB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上り種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.2 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.2 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ ※4	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

公共建築工事標準仕様（X-2 平場仕様）・X-1 X-2 共通立上り仕様

平 場 KX-30HA/HB
立上り KX-20TA/TB



工法番号	KX-30HA
防水材厚み	3.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上り種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWPベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWPベース	1.9 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWPベース	1.9 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	KX-20TA
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上り種類	艶有り

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.1 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.1 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

工法番号	KX-30HB
防水材厚み	3.0 mm 厚
施工部位	平 場
仕上り種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWPベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWPベース	1.9 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWPベース	1.9 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ ※4	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

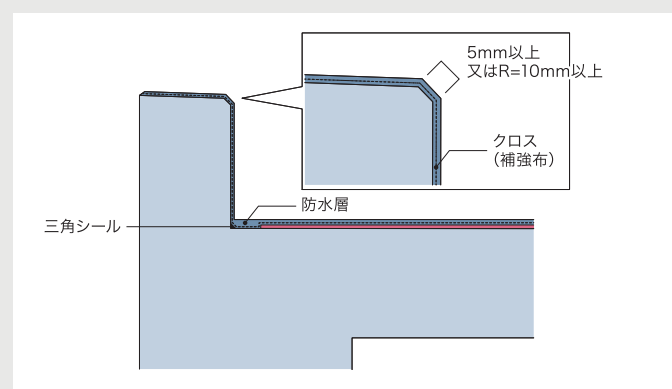
工法番号	KX-20TB
防水材厚み	2.0 mm 厚
施工部位	立上り
仕上り種類	凹凸

工程	製品名	塗布量	工程間隔 (23℃)
1	プライマー ※ 1	0.2 kg / m ²	1.5hr
2	KFシーラテクトWP立上り用ベース ※2	0.4 kg / m ²	—
3	KFメッシュクロス ※3	1.0 m / m ²	—
4	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.1 kg / m ²	16hr
5	KFシーラテクトWP立上り用ベース	1.1 kg / m ²	16hr
6	KFシーラテクトUB-1トップ ※4	0.2 kg / m ²	工程内16hr 最終養生16hr

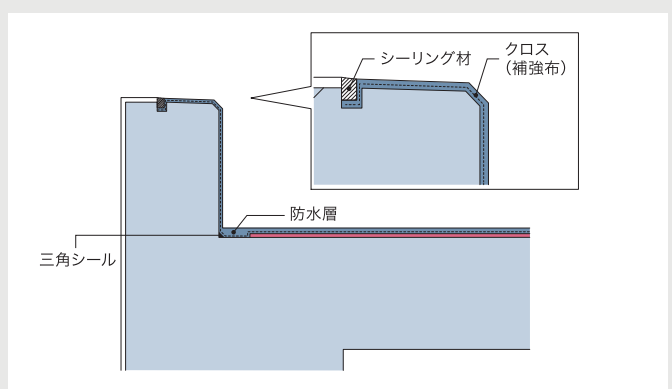
- ※ 1 プライマーは下地に応じて選定してください。またプライマーの塗布量は下地状態によって変動します。
- ※ 2 KFシーラテクト WP ベース又はKFシーラテクト WP 立上り用ベース塗布後、速やかにKFメッシュクロスを貼り付けてください。
- ※ 3 シート・テープ類について記載された塗布量は使用量となります。施工場所の状況によって使用量が変動しますのでご注意ください。
- ※ 4 KFシーラテクト UB-1 トップに対しKFシーラテクトUB-1弾性骨材を 2% 添加し、電動攪拌機を用いて弾性骨材が均一に分散されるまで混合して塗布してください。

各部の納り図

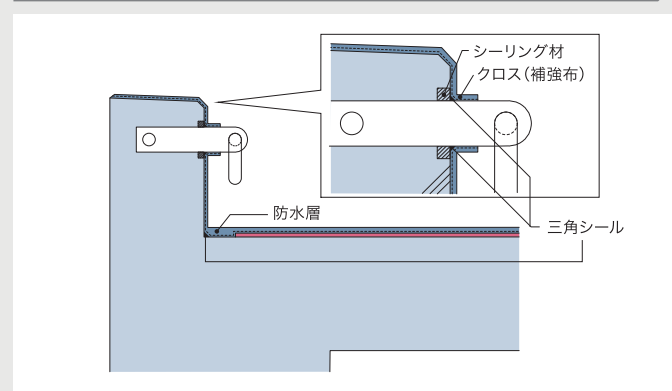
パラペット



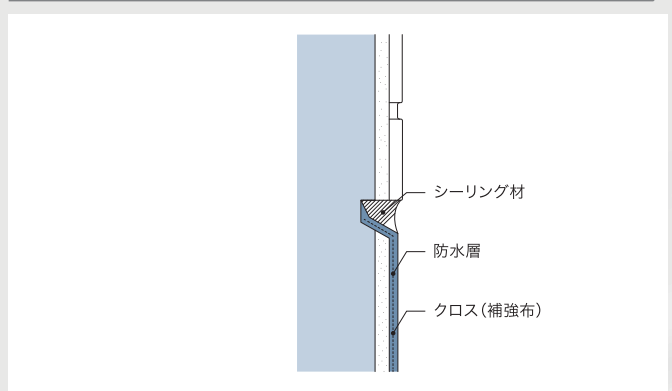
パラペット タイル取り合い



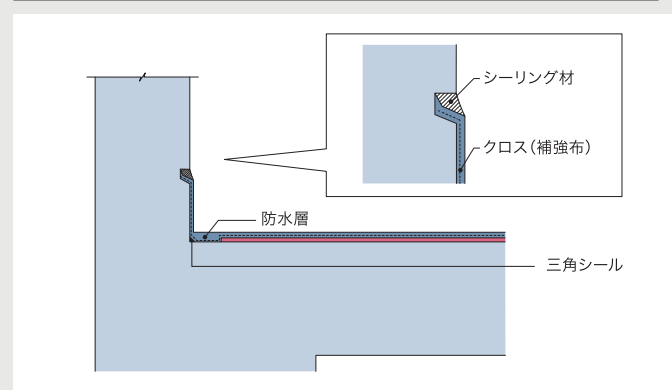
パラペット 丸環まわり



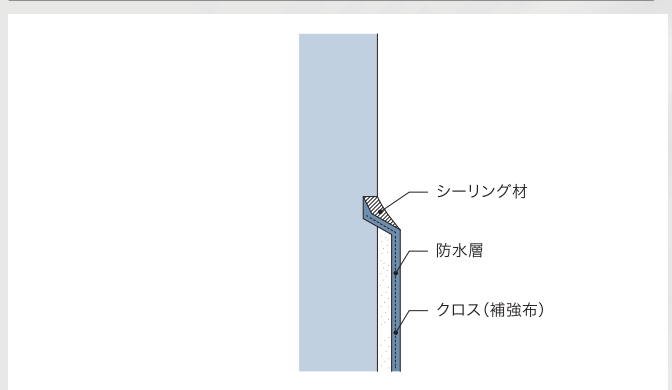
タイル壁取り合い



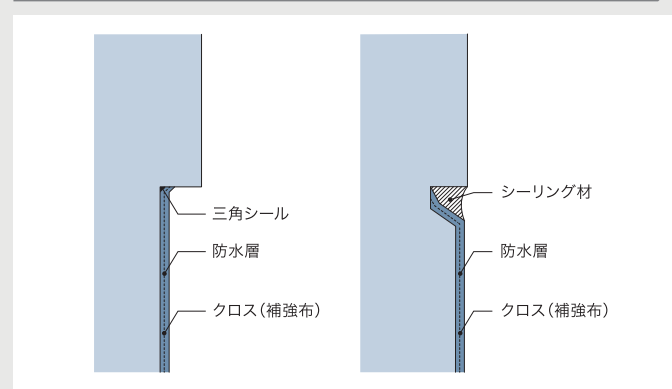
立上り 目地設置



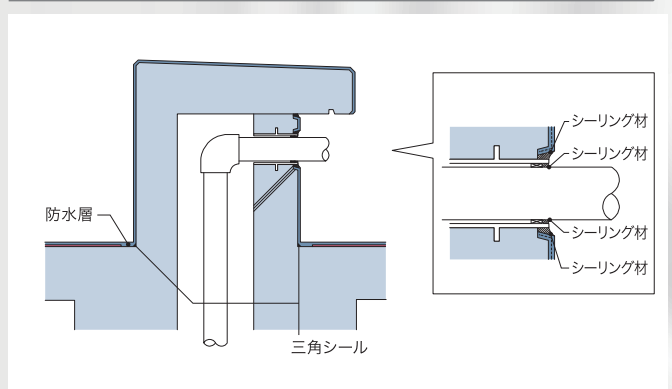
出巾木



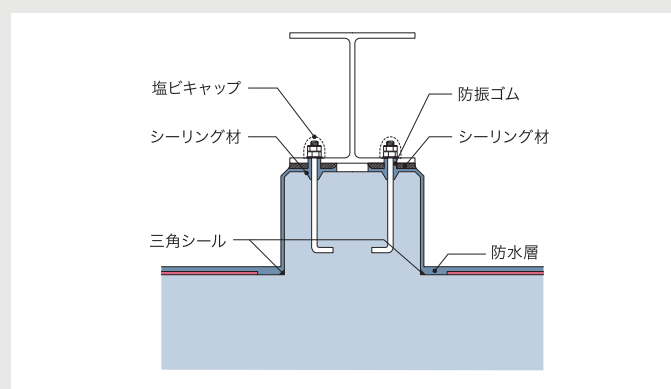
入巾木



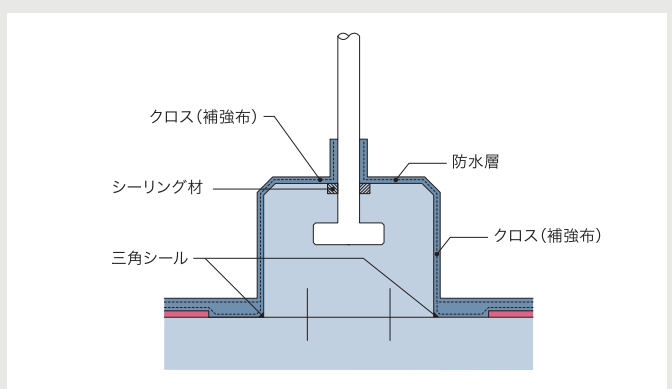
鳩小屋



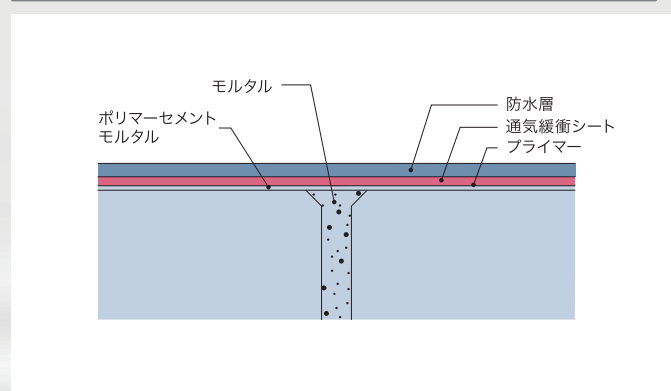
基礎架台



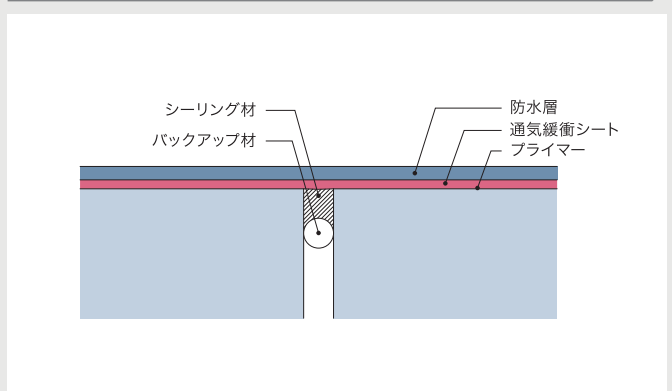
フェンス基礎



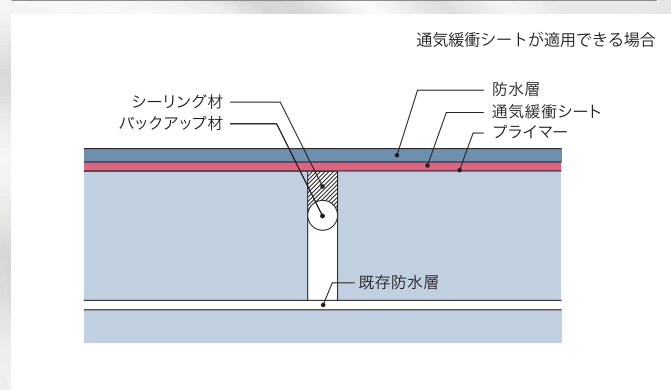
ALC板取り合い



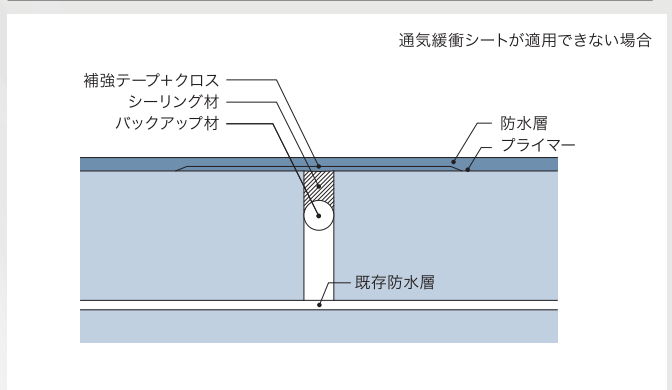
PCa板取り合い(通気緩衝工法の場合)



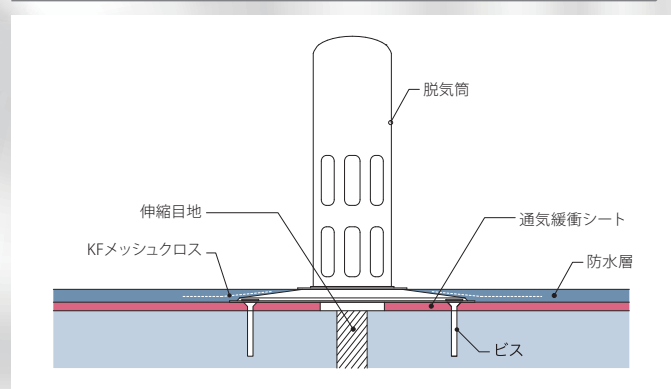
押えコンクリート伸縮目地部 (KFシールテクトWP通気緩衝工法の場合)



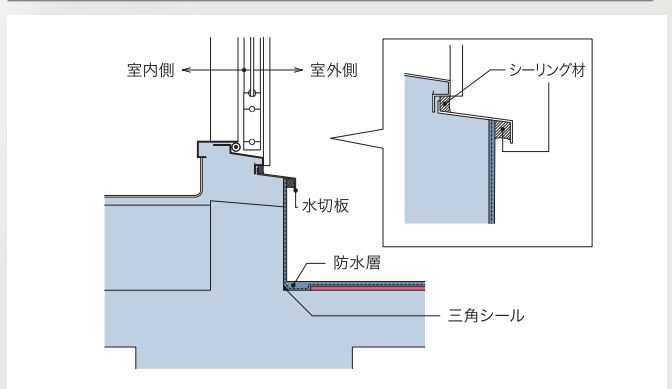
押えコンクリート伸縮目地部 (KFシールテクトWP密着工法の場合)



脱気筒回り



開口部



防 水 材



JIS A 6021 に基づく物性

項 目		試験時温度	規格値	データ	
				KFシールテクトWPベース	KFシールテクトWP立上り用ベース
引張性能	引張強さ (N/mm ²)	23℃	2.3以上	4.4	5.5
	破断時の伸び率 (%)	23℃	450以上	750	790
	抗張積 (N/mm)	23℃	280以上	670	870
	破断時のつかみ間の伸び率 (%)	23℃	300以上	490	540
引裂性能	引裂強さ (N/mm)	23℃	14以上	17	20



<ご注意>

- KFシールテクトWP硬化促進剤は缶内で分離しやすいため、使用直前に缶を逆さにし、10回程度揺すってから投入してください。
- KFシールテクトWP硬化促進剤を添加した後、電動攪拌機で十分に混合してください。硬化性にムラが生じる可能性があります。
- KFシールテクトWP硬化促進剤を添加した防水材は可使時間が短くなります。調合量は可使時間内に使用できる量としてください。



JIS A 6021 建築用塗膜防水材
屋根用ウレタンゴム系高伸長形 (旧1類)
一般用1成分形
CE0310001
※KFシールテクトWPベース/WP立上り用ベースが該当

KFシールテクトWPベース

- 厚膜に塗布してもシワ・ピンホール等の発生が極めて少なく綺麗な防水層を形成します。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- JIS A6021 建築用塗膜防水 屋根用ウレタンゴム系高伸長形 (旧1類) 適合品です。
- KFシールテクトWP硬化促進剤との併用で硬化時間が短くなり更に作業効率が向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

平場用	製品情報		
	荷 姿	色	硬化物密度
	18 kg／缶	淡グレー	1.4
製品情報			
消防法		有機溶剤中毒予防規則	
指定可燃物		第3種有機溶剤	

KFシールテクトWP立上り用ベース

- 弛み性に優れ、均一な防水層を形成します。
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- JIS A6021 建築用塗膜防水 屋根用ウレタンゴム系高伸長形 (旧1類) 適合品です。
- KFシールテクトWP硬化促進剤との併用で硬化時間が短くなり更に作業効率が向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

立上り用	製品情報		
	荷 姿	色	硬化物密度
	18 kg／缶	淡グレー	1.4
製品情報			
消防法		有機溶剤中毒予防規則	
指定可燃物		第3種有機溶剤	

KFシールテクトWP硬化促進剤

KFシールテクトWP硬化促進剤はKFシールテクトWPベース及びKFシールテクトWP立上り用ベースの専用硬化促進剤です。それぞれの防水材に対し4%以内で添加することで硬化時間が短縮されます。

KFシールテクトWP 硬化促進剤の添加量	添加無し	各防水材※に対し4%添加			
環境温度	23℃	10℃	23℃	35℃	
硬化時間	16hr	16hr	4hr	3hr	
可使時間	2hr	30min	20min	10min	

※各防水材：KFシールテクトWPベース及びKFシールテクトWP立上り用ベース
※上記は塗布量2kg／㎡とした場合の硬化時間、可使時間となります。
※上記の硬化時間・可使時間は目安としてください。施工環境により変わる可能性があります。

荷 姿
7.2 kg／缶

プ ラ イ マ ー 類



正規荷姿



小缶荷姿

KFシールテクトUB -1 プライマー

- 1液湿気硬化タイプの速乾形ウレタンプライマーです。
- 適用下地：RC、モルタル、FRP、ポリマーセメント
- 硬化時間が1 ～ 1.5hrと早いため作業効率が向上します。(15℃～ 30℃)
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

荷 姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
16 kg／缶	4 kg／缶	第4類第1石油類 非水溶性液体	第2種有機溶剤



正規荷姿



小缶荷姿

KFシールテクトUB -1 プライマーA

- 1液湿気硬化タイプの環境対応形ウレタンプライマーです。
- 適用下地：RC、モルタル、ウレタン、FRP、ポリマーセメント
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 有機則に該当しない環境対応形プライマーです。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

荷 姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
14 kg／缶	4 kg／缶	第4類第1石油類 非水溶性液体	非該当



KFシールテクトUB -1 プライマーM

- 1液湿気硬化タイプの速乾形ウレタンプライマーです。
- 適用下地：金属面(鉄・トタン)
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 金属面(鉄・トタン)に対し強力な付着力を有するプライマーです。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

荷 姿		製品情報	
500ml／缶		消防法	有機溶剤中毒予防規則
		第4類第1石油類 非水溶性液体	第2種有機溶剤



正規荷姿



小缶荷姿

KFシールテクトUB -1 プライマー V

- 1液湿気硬化タイプの速乾形ウレタンプライマーです。
- 適用下地：塩化ビニル樹脂下地
- 硬化時間(1.5 ～ 2hr (23℃))
- 1成分形のため調合・攪拌が不要なため作業効率が大幅に向上します。
- 塩化ビニル樹脂下地用プライマー。
- 水分と反応し硬化するため開缶後は速やかにご使用ください。

荷 姿		製品情報	
正規荷姿	小缶荷姿	消防法	有機溶剤中毒予防規則
17 kg／缶	3 kg／缶	第4類第1石油類 非水溶性液体	第2種有機溶剤

トップコート類



KFシールテクトUB-1 トップ

- 環境に配慮したTXフリータイプ(トルエン、キシレンが0.1%未満)の常温硬化型2液アクリルシリコン塗料です。
- 優れた耐候性を有し、紫外線等から長期にわたり防水層の劣化を防ぎます。
- 作業性、レベリング性に優れるため綺麗な仕上がりを得られます。

可使時間

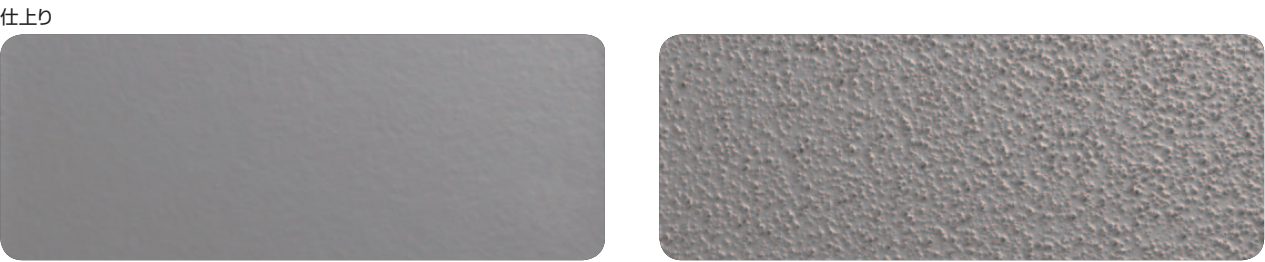
季節	気温	可使時間
夏	25 ~ 35℃	3hr
春・秋	15 ~ 25℃	5hr
冬	5 ~ 15℃	8hr

性能

試験項目		試験結果	備 考
乾燥時間	指触	20min以内	JIS K 5600-1-1:1999
歩行可能時間 (23℃)		16hr	KFシールテクトWPベースに塗布
耐酸性		異常なし	0.5% 硫酸、浸漬 1 週間
耐アルカリ性		異常なし	飽和水酸化カルシウム、浸漬 1 週間
仕上り性		良好	ローラー (中毛) 塗装時
促進耐候性 (XWOM) 光沢保持率 (%)	500hr	99%	JIS K 5600-7-7:2002
	1000hr	98%	
	2000hr	94%	
	3000hr	90%	

荷 姿			
正規荷姿		小缶荷姿	
15kg / SET		5kg / SET	
主剤 : 9 kg / 缶	硬化剤 : 6 kg / 缶	主剤 : 3 kg / 缶	硬化剤 : 2 kg / 缶

製品情報		
主・硬	消防法	有機溶剤中毒予防規則
主 剤	第4類第2石油類、非水溶性液体	第3種有機溶剤
硬化剤	第4類第2石油類、非水溶性液体	第3種有機溶剤

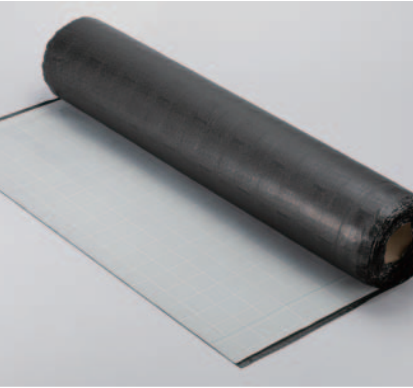


艶有り仕上げ (グレー)

凹凸仕上げ (グレー)



シート・テープ類



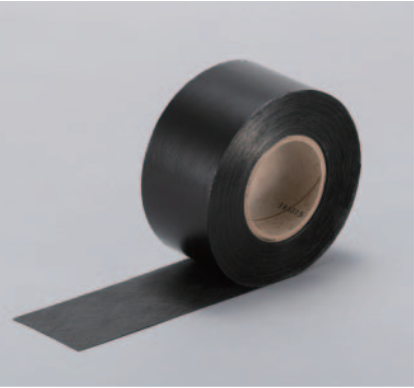
KF自着通気緩衝シート

荷 姿
サイズ: 幅1040 mm × 長さ15.7 m



KFメッシュクロス

荷 姿
サイズ: 幅1020 mm × 長さ50 m



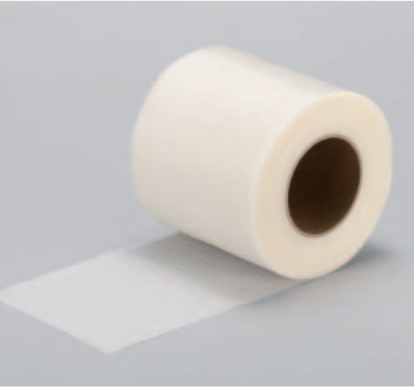
KF端末テープ

荷 姿	
サイズ: 幅75 mm × 長さ25 m	16巻/箱



KFジョイントテープ

荷 姿	
サイズ: 幅90 mm × 長さ50 m	20巻/箱



KF補強テープ

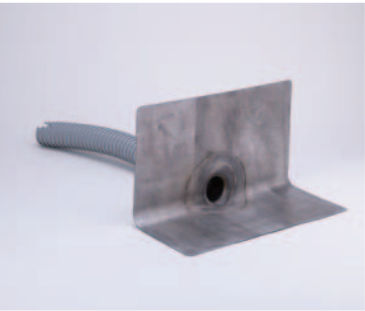
荷 姿	
サイズ: 幅140 mm × 長さ50 m	7巻/箱



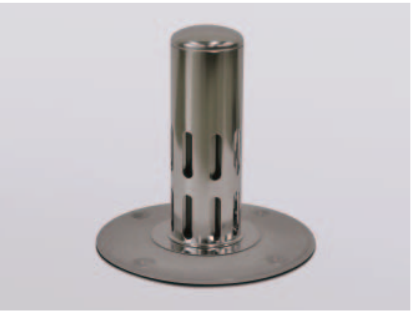
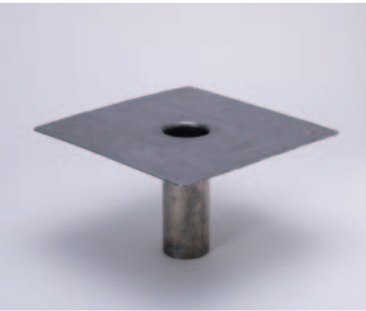
KFシールテクト UB-1 弾性骨材

荷 姿	
100 g / 袋	15袋/箱

そ の 他



ドレン・ストレーナ等



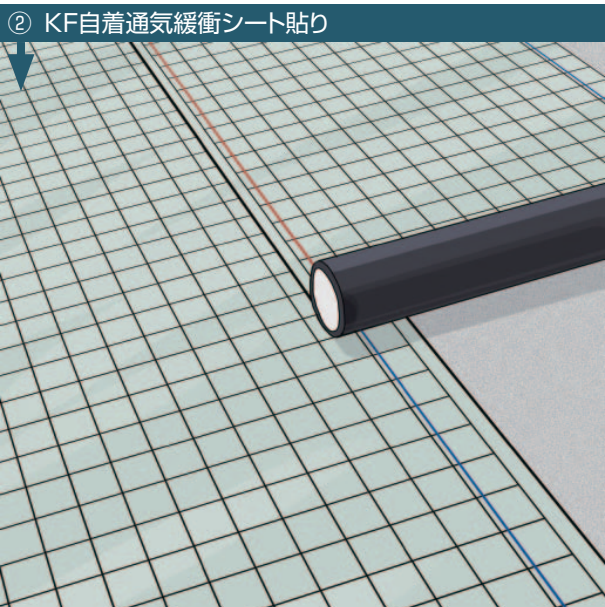
脱気筒

シート・テープ類貼り付け方法

KF自着通気緩衝シート及び各種テープ類の貼り付け方法（例：AS-28HA）

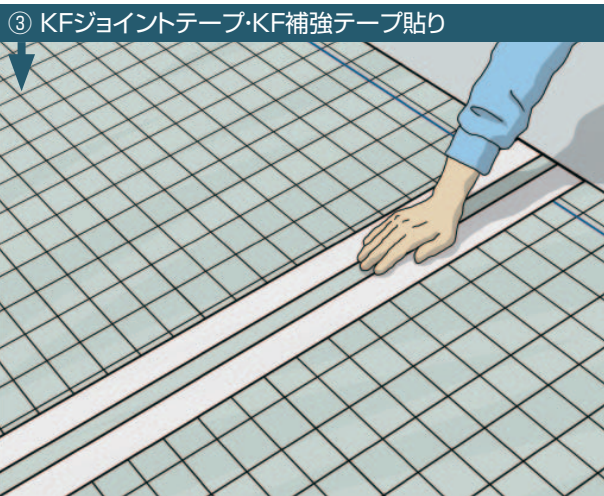


下地処理完了後、プライマーをウールローラー（中毛）刷毛を用いてムラなく均一に塗布してください。



KF自着通気緩衝シートは以下の通りねじれ・弛み・曲がりがないように貼り付けてください。

- (a) 立上り部分は入隅から100mm離して貼り付けてください。
- (b) 長手方向の張り合わせは貼り付けたシートの緑線に次に貼り付けるシートの赤線が重なるようにして貼り付けてください。短手方向はシート端部同士を隙間なく突合せて貼り付けてください。
- (c) 貼り付け後、脱気筒の設置箇所・ドレン廻りのシートはカッターナイフで切り取り、小口は端末テープを貼り付け段差の無いように処理してください。
- (d) (c)の処理後、脱気筒、ドレンを設置してください。



②(b)のシート貼り合わせ部分にKFジョイントテープを貼り付けてください。また、短手方向の貼り合せ箇所はKFジョイントテープを貼り付け、その上にKF補強テープを貼り付けてください。

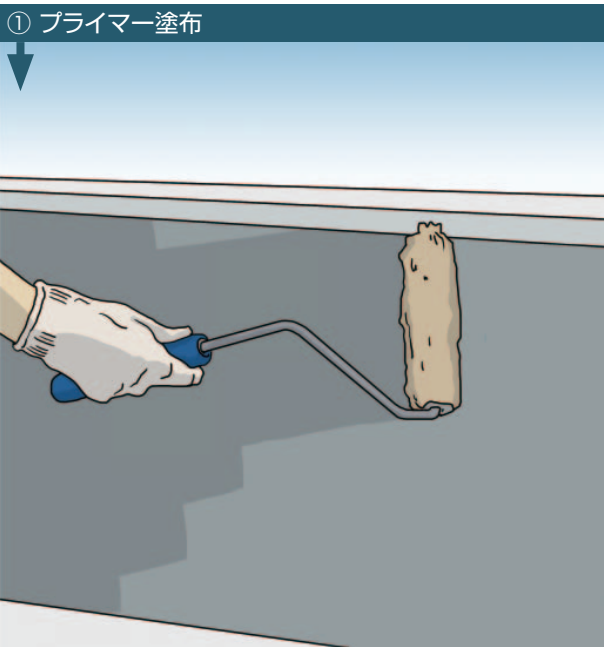


KF自着通気緩衝シートの端末にKF端末テープを貼り付けてください。



シート面に直接KFシールテクトWPベースを指定の工法に従い塗布してください。KFシールテクトWPベース塗布後、KFシールテクトUB-1トップを指定の工法に従い塗布してください。

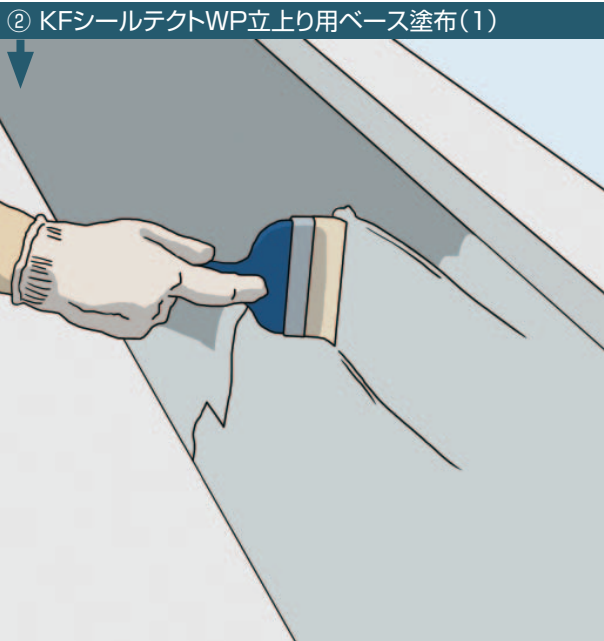
KFメッシュクロスの貼り付け方法（例：AX-20TA）



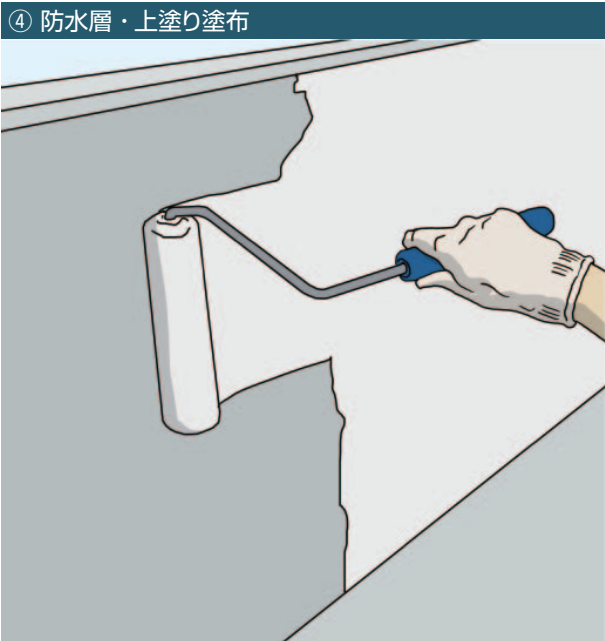
下地処理完了後、プライマーをウールローラー（中毛）、刷毛を用いてムラなく均一に塗布してください。



②の作業後、速やかにKFメッシュクロスを浮き・歪みのないように貼り付けてください。
KFメッシュクロスの貼り合せ幅は50 mm以上としてください。



KFシールテクトWP立上り用ベースをゴムベラ・コテ等の工具で0.4 kg/m²塗布してください。



③の作業後、硬化していることを確認し、KFシールテクトWP立上り用ベース、及びKFシールテクトUB-1トップを指定の工法に従い塗布してください。

下地処理について

1. 新設時の下地処理
(下地：モルタル、RC)

- 下地の欠損部等はポリマーセメントモルタルなどで補修を行い平滑面としてください。
- 表面に付着したモルタルのこぼれ等の凸部、レイトンス等の脆弱層はケレン棒、皮スキ、ディスクサンダー等で除去しポリマーセメントモルタルなどで平滑面としてください。
- 表面の油分は中性洗剤で洗った後、水洗いを充分に行い、十分に乾燥させてください。
- しみこんだ油分はワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で除去してください。除去後、凹みはポリマーセメントモルタルなどで平滑に仕上げてください。
- 下地の勾配は1/100～5/100の範囲となるようポリマーセメントモルタルなどで調整してください。1/100以下の場合、水溜りの発生により防水層が早期に劣化する恐れがあります。5/100以上の場合、水上側で防水層の膜厚が確保し難くなり、防水層の損傷や早期劣化の恐れがあります。
- 下地は十分な養生期間をとり乾燥させてください。モルタルの場合は2週間以上、RCは3週間以上を目安としてください（23℃環境）。
- ケット水分計により含水率10%以下であることを確認し、記録してください。乾燥が不十分な場合、剥がれ、ピンホール、フクレ等が発生し防水層に欠損が生じる恐れがあります。
- 降雨後は2日以上乾燥期間を取ってください。
- ドレン廻り、排水溝は水が溜まりやすいので乾燥状態の確認を十分に行ってください。
- 出隅は膜厚確保のため面取り（5 mm程度）もしくはR=10 mm以上で丸く仕上げてください。
- 入隅は必要に応じてプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材で三角シール処理をしてください。

- 原則として出隅・入隅ともにKFメッシュクロスを使用して補強張りをしてください。補強張りは、KFシールテクトプライマー又はKFシールテクトプライマー Aを0.2 kg/㎡塗布し、KFシールテクトWPベースを0.4kg/㎡塗りつけKFメッシュクロスを貼りつけてください。

2. 改修時の下地処理について
(下地：FRP、ウレタン塗膜防水材、ポリマーセメント系防水材、等)

- 下地に浮きが生じている場合は、事前に電気工具（ディスクサンダー等）により研り取ってください。研り取った箇所はプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材で段差補修を行ってください。
- 1 mm未満のクラックはプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材をすり込んでください。
- 1 mm以上2 mm未満のクラックはディスクサンダー等でUカットしプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材を充填してください。
- 2 mm以上の場合にはUカットしプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材を充填してください。硬化後、その部分にKFシールテクトプライマー又はKFシールテクトプライマー Aを0.2 kg/㎡塗布し、KFシールテクトWPベースを0.4 kg/㎡塗りつけKFメッシュクロスを貼ることで補強してください。
- 目地部の既存シール材を打ち替える場合、既存シール材撤去後、プライマー塗布・硬化した後、バックアップ材を挿入し速乾型ウレタンシーリング材を充填してください。バックアップ材が挿入されていない場合、3点接着となり目地に充填した速乾型ウレタンシーリング材が切れる恐れがあります。シーリング材硬化後、KFメッシュクロスを使用して補強張りをしてください。補強張りの施工方法は上記参照ください（但し、通気緩衝工法の場合は不要です。）
- 手すり金具、ルーフドレン、貫通パイプ等の金物まわりは、塗料、錆び等をはがし、モルタル等との取り合い部分をUカットして研り、金属下地用プライマー「KFシールテクトUB-1 プライマー M」を塗布し硬化後に速乾型ウレタンシーリング材を充填してください。
- 高さ2 mm以上の凸部はディスクサンダー等で削り平滑面としてください。

- 小さな凹み、欠け等はプライマーを塗布・乾燥後、速乾型ウレタンシーリング材を充填してください。
- 大きい凹みや不陸等は既存防水材をディスクサンダー等で研り取り、プライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材で段差補修を行ってください。段差が高くKFシールテクトWPベース塗布後、水溜りを生じる恐れがある場合は更にポリマーセメントモルタルで平滑面としてください。
- 既存防水材がFRP及びウレタン防水材の場合、埃・塵を除去した後、アセトン等でシンナー拭きを行い、脱脂してください。
- 改修下地がFRP防水材・ウレタン塗膜防水材・ポリマーセメント系防水材以外の場合、弊社営業担当者までお問合せください。

施工時の作業環境について

- 降雨時および降雨直後の施工は避けてください。また、施工後、養生期間中に降雨が予想される場合も、施工を避けてください。
- 強風時の施工は避けてください。
- 施工に適した気温・湿度等は下表のとおりです。

気 温	湿 度	下地温度
5℃～ 35℃	80%以下	5℃～ 55℃

材料の取扱い・保管について

- 以下の製品は空気中の水分と反応して硬化するため、開缶後は速やかに使用してください。

KFシールテクト WP ベース
KFシールテクト WP 立上り用ベース
KFシールテクト UB-1 プライマー
KFシールテクト UB-1 プライマー A
KFシールテクト UB-1 プライマー M
KFシールテクト UB-1 プライマー V

- 防水層施工後は深部まで硬化したことを確認してから次工程に移ってください。深部まで硬化していない場合トップコート塗布後にリフティング（縮れ現象）を生じ仕上り不良となる恐れがあります。
- 各工程の養生時間は厳守してください。剥がれ等の付着不良を起こす恐れがあります。
- 特にトップコート塗布後、最終養生時間16hr（23℃）を厳守してください。
- 防水層施工後、トップコート塗布までの期間が3日以上空いた場合、または降雨にあった場合はKFシールテクトプライマー Aを塗布しトップコートを塗布してください。
- トップコートは、塗布後に塗り継ぎや補修等で再塗装する場合は翌日以降としてください。
- KFシールテクトUB-1 トップは配合比（主剤3：硬化剤2）を必ず守り電動ミキサー等によって良く攪拌・混合してから塗装してください。
- 使用した施工器具等は速やかに溶剤（トルエン・キシレン等）によって洗浄してください。使用材料が固化し施工器具が使用できなくなる恐れがあります。
- 作業前までに各使用材料のSDSをご覧ください、取扱い・保管・廃棄方法についてご確認ください。
- 施工直後に降雨・汗等の水分が施工面にあたった場合、凹みや色分れ等の不具合を生じる恐れがあります。
- 特に防水層は規定塗布量を厳守するように施工してください。塗布量の過不足は防水機能低下の原因となります。
- 各種防水材の保管環境については以下の通りです。

夏期

直射日光のあたらない風通しのよい日陰で保管してください。各種防水材にKFシールテクトWP硬化促進剤を添加して使用する場合、液温上昇によって可使時間が短くなり材料ロスや仕上り不良の原因となります。

冬期

低温環境での保管は粘度上昇のため作業性が悪くなります。室内等の暖かい場所に置か、使用前に温める等の処置をしてください。

取扱上の注意点

●原則的に希釈は行わないでください。各種防水材の粘度を調整する場合、防水材塗布量を管理した上で、各種防水材の重量に対し3%を超えない量で溶剤（トルエン・キシレン）又はウレタンシンナーによって希釈してください。過希釈は防水機能低下の原因となりますので厳守してください。また、トップコート及びプライマーは無希釈で使用してください。

ご使用時の注意点

- 防水層の上を歩行する場合は、ハイヒール・スパイクシューズ等、防水層を損傷するおそれのある履物を使用しないでください。
- 防水層は可燃物ですので、その上では火気を使用しないでください。たばこの吸殻の投げ捨てや花火等はないでください。
- 防水層の上で重い物をひきずったり、防水層に角鉄材等の損傷を与えるものを落とさないでください。防水層が剥離したり損傷を受けます。
- 防水層の上にガソリン・溶剤・不凍液等をこぼさないでください。防水層が軟化してフクレ・剥がれが生じます。
- 防水層の上に椅子・テーブル等を置く場合、足にゴムキャップを付けるなどによって防水層を保護してください。また、角のあるものを置く場合はその下にゴム板を敷いてください。また、カッター等の鋭利なもので傷つけないでください。なお、ゴム板等は材質に注意してください。変色や軟化の恐れがあります。
- 防水層の上でゴルフの練習や一輪車・ローラースケートの練習は行わないでください。クラブや車輪で防水層を傷つけるおそれがあります。
- 防水層の上で犬や鶏等のペットは飼わないでください。
- 防水層の清掃の際は中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。
- 降雨や清掃などで防水層が水に濡れた状態では大変滑りやすいのでご注意ください。
- クーリングタワーの防藻剤、殺菌剤等が防水層にあたると損傷するおそれがありますのでご注意ください。

- 防水層は鳥害を受ける可能性があります。
- 防水層の上に敷物等を敷くなどにより常時水が防水層にあたるような状態とならないようにしてください。
- 防水施工面を定期的に清掃してください。
- 特に排水口の周りは排水機能を確保のため土砂等が堆積しないようにしてください。
- 施工後3ヵ年毎にひび割れ・剥離・フクレを生じている箇所がないか防水施工面の状態をご確認ください。なお、万が一異常が認められた場合は施工店にご相談ください。

使用材料一覧

種類	製品名	規格	荷姿	容器	施工面積目安(※1)	
防水材	KFシールテクトWPベース	1成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021適合品、淡グレー	18 kg / 缶	石油缶	3 mm 厚(4.2 kg/㎡) 2.8 mm 厚(4.0 kg/㎡) 2 mm 厚(2.8 kg/㎡) 1.4 mm 厚(2.0 kg/㎡)	約4.2 ㎡/缶 約6.4 ㎡/缶 約4.5 ㎡/缶 約9.0 ㎡/缶
	KFシールテクトWP立上り用ベース	1成分形ウレタン塗膜防水材 JIS A 6021適合品、濃グレー	18 kg / 缶	石油缶	2 mm 厚(2.6 kg/㎡) 1.4 mm 厚(2.0 kg/㎡)	約6.4 ㎡/缶 約9.0 ㎡/缶
	KFシールテクトWP硬化促進剤	KFシールテクトWPベース及び KFシールテクトWP立上り用ベース 専用硬化促進剤	7.2 kg / 缶	石油缶	KFシールテクトWP硬化促進剤1缶あたり ・KFシールテクトWPベース10缶分 ・KFシールテクトWP立上り用ベース10缶	
プライマー	KFシールテクトUB-1プライマー	1成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 速乾タイプ	16kg / 缶	石油缶	0.2 kg / ㎡	80 ㎡/缶
			4 kg / 缶	5 ℓ 角缶	0.2 kg / ㎡	20 ㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー A	1成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 環境対応タイプ	14 kg / 缶	石油缶	0.2 kg / ㎡	70 ㎡/缶
			4 kg / 缶	5 ℓ 角缶	0.2 kg / ㎡	20 ㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー M	1成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 金属用プライマー	0.5 ml / 缶	1 ℓ 角缶	0.2 kg / ㎡	2.5 ㎡/缶
	KFシールテクトUB-1プライマー V	1成分形湿気硬化型 ウレタンプライマー 塩化ビニル樹脂下地用プライマー	17 kg / 缶	石油缶	0.2 kg / ㎡	70 ㎡/缶
			3 kg / 缶	5 ℓ 角缶	0.2 kg / ㎡	20 ㎡/缶
	トップコート	2液反応硬化形 アクリルシリコン樹脂塗料 期待値15年 ウレタン防水材用 高耐候性上塗り材 <標準色> グレー、ライトグレー、グリーン、 ライトグリーン、ノースブラウン	15 kg / SET 主 剤：9 kg / 缶 硬化剤：6 kg / 缶	主 剤：石油缶 硬化剤：半切缶	0.2 kg / ㎡	80 ㎡/缶
			5kg / SET 主 剤：3 kg / 缶 硬化剤：2 kg / 缶	主 剤：半切缶 硬化剤：5 ℓ 角缶	0.2 kg / ㎡	20 ㎡/缶
		KFシールテクトUB-1弾性骨材	KFシールテクトUB-1トップ専用 ゴム粉	0.1 kg / 袋 (15袋 / 箱)	袋：チャック付ビニール 箱：ダンボール	KFシールテクトUB-1トップ 15 kg / SETあたり 0.1 kg / 袋×3袋 5 kg / SETあたり 0.1 kg / 袋×1袋
シート・テープ類	KFメッシュクロス	ポリエステルクロス	1020 mm 巾 × 50 m / 巻	—	約51 ㎡ / 巻	
	KF自着通気緩衝シート	高性能通気緩衝シート改質 アスファルト粘着層により接着	1040 mm 巾 × 15.7 m / 巻	—	約15 ㎡ / 巻	
	KF端末テープ	KF自着通気シート用端末テープ ブリード防止ブチルゴム粘着層により 接着	75 mm 巾 × 25 m / 巻 (16本 / 箱)	—	—	
	KFジョイントテープ	ビニロンメッシュ粘着付テープ	90 mm 巾 × 50 m / 巻 (20本 / 箱)	—	—	
	KF補強テープ	有孔フィルム補強メッシュ 複合テープ	140 mm 巾 × 50 m / 巻 (7本 / 箱)	—	—	
その他	脱気筒	ステンレス製 高さ：191 ～ 194 mm、 全径：190 mm	各種サイズ (2個 / 箱)	—	50 ㎡に 1 個を目安に設置	
	ドレン・ストレーナ等	角型鉛改修ドレン 表面：生地仕上または砂付仕上 形状：タテ型・ヨコ型(各サイズあり)	ドレン・ストレーナ 各種サイズ (2個 / 箱)	—	必要箇所	